

令和7年度

発行日 令和7年12月21日

《民俗芸能情報提供》 令和8年 1月～3月

3ヶ月に1回 会員向け発行 団体・個人の入会 随時受付中
神奈川県民俗芸能保存協会事務局

＜協会ウェブサイト＞ <https://kanagawa-mzg.jp/>

＜民俗芸能情報の受け入れ窓口＞ office@kanagawa-mzg.jp

＜民俗芸能情報収集・作成担当者＞ （スタッフ募集中）

県西地域 柏木 勤

県北地域 平本元一

県央地域 垣澤 勉、中島裕子

湘南地域 松岡敬介

県東地域 飯島重一、吉澤幸治、高久 舞、金子隆一

各地域 神奈川県、各市町村民俗芸能担当の皆さん

箱根町、小田原市、川崎市、三浦市、横浜市、横須賀市、鎌倉市、厚木市
相模原市、藤沢市、茅ヶ崎市、山北町、座間市、秦野市、南足柄市、平塚市
寒川町、海老名市、大磯町、大和市、綾瀬市、伊勢原市、茅ヶ崎市、愛川町

＜民俗芸能情報印刷・配送担当者＞ （スタッフ募集中）

吉澤幸治、八木秋夫、平本元一、柏木 勤、雨宮真樹、綿谷真理、金子隆一

※詳細につきましては、各問い合わせ先にご確認下さい。

※指定・選択区分記号凡例

（大会等で複数の公演を行う場合は、記号を記載していません場合があります。）

（A） 国指定重要無形民俗文化財 （B） 国選択無形民俗文化財

（C） 神奈川県指定無形民俗文化財 （D） 神奈川県選択無形民俗文化財

（E） 市町村指定無形民俗文化財、市町村認定無形民俗文化財

月 日	民 俗 芸 能 等 の 名 称	場 所
1月 1日(木) 祝日	鶏鳴神事（歳旦祭）	瀬戸神社（横浜市）
	御霊神社初神楽(元旦祭)	御霊神社（鎌倉市）
	下土棚祭りばやし（E）	白山神社（藤沢市）
	前鳥囃子と里神楽（E）	前鳥神社（平塚市）
	田村ばやし （元旦祭初叩き奉納演奏）（E）	田村八坂神社（平塚市）
1月 2日(金)	追儺祭	寒川神社（寒川町）
	庖丁式 横浜萬屋心友会・横浜興禅寺雅楽会	三溪園（横浜市）
1月 2日(金)	新城郷土芸能囃子曲持保存会	新城神社（川崎市）
1月 3日(土)	正月囃子獅子舞(門付け：訪問)	
1月 3日(土)	相模里神楽垣澤社中の公演（E）	京橋エドグラン（東京都中央区）

神奈川県民俗芸能保存協会

1 月 4 日(日)	手斧始式・鎌倉木遣唄 (E)	鶴岡八幡宮 (鎌倉市)
1 月 6 日(火)	鎌倉市消防出初式・鎌倉木遣唄 (E)	山崎浄化センター (鎌倉市)
	八雲神社初神楽・鎌倉神楽 (E)	八雲神社 (鎌倉市)
	田名八幡宮の的祭 (E)	田名八幡宮 (相模原市)
1 月 7 日(水)	白髭神社の奉射祭 (E)	白髭神社 (小田原市)
1 月 8 日(木)	大注連祭 (オシメヨリ)	今泉白山神社 (鎌倉市)
	武佐弓祭	寒川神社 (寒川町)
1 月 10 日(土) 1 月 11 日(日)	山北の道祖神祭り (川村囃子の演奏) (E)	山北町山北地内 (山北町)
1 月 11 日(日)	小田原囃子 (新年太鼓初め) (C)	白山神社 (小田原市)
	汐祭り	坂ノ下海岸 (鎌倉市)
	潮神楽・鎌倉神楽 (E)	材木座海岸 (鎌倉市)
	根府川の福踊り	根府川寺山神社 (小田原市)
1 月 14 日(水)	第 1077 回 筒粥神事(E)	師岡熊野神社 (横浜市)
1 月 15 日(木)	チャッキラコ (A) ユネスコ無形文化遺産 (風流踊)	海南神社 (三浦市)
1 月 16 日(金)	小動神社例祭・鎌倉神楽 (E)	小動神社 (鎌倉市)
1 月 17 日(土)	第 31 回どんど焼き	海の公園 (横浜市)
	大磯の左義長 (A)	北浜海岸、各道祖神 (大磯町)
1 月 18 日(日)	相模里神楽垣澤社中の公演 (E・厚木市) 神戸道祖神神社祭礼	神戸公民館 (伊勢原市)
1 月 22 日(木)	聖徳太子講・鎌倉木遣唄 (E)	宝戒寺 (鎌倉市)
1 月 23 日(金) 1 月 24 日(土)	板橋地蔵尊大祭	宗福院地蔵堂 (小田原市)
1 月 25 日(日)	上町屋天満宮初天神祭・鎌倉神楽	上町屋天満宮 (鎌倉市)
	第 46 回 新春はやし叩き初め大会 (E)	海老名市立総合福祉会館大広間 (海老名市)
1 月 28 日(水)	満福寺の火伏まつり	延寿山成就院満福寺 (小田原市)
	武山初不動	武山不動院 (横須賀市)
	岩屋不動尊初護摩供	岩屋不動尊 (藤沢市)
2 月 1 日(日)	相模人形芝居下中座 小竹公演 (19 回) (A)	小竹公民館 (小田原市)
2 月 2 日(月)	佐助稲荷神社初午祭・鎌倉神楽	佐助稲荷神社 (鎌倉市)
2 月 7 日(土)～ 3 月 1 日(日)	第 56 回小田原梅まつり 曾我別所寿獅子舞 (E)	曾我梅林別所会場 (小田原市)
2 月 11 日(水) 祝日	いなりっこ (E)	海南神社 (三浦市)

2月14日(土) 2月15日(日)	世附の百万遍念仏 (C)	能安寺 (山北町)
2月15日(日)	第53回相模人形芝居大会 (A) (C) 【要事前申込】	南足柄市文化会館 (金太郎みらいホール) 大ホール (南足柄市)
2月17日(火)	祈年祭 (田打舞神事)	寒川神社 (寒川町)
2月21日(土)	福德稻荷大祭・午(うま)まつり	川崎大師境内福德稻荷堂 (川崎市)
2月23日(月) 祝日	第46回相模原市民俗芸能大会	あじさい会館 (相模原市)
3月1日(日)	神田公民館まつり (E)	神田公民館 (平塚市)
	白岩神社祭礼 (E)	白岩神社 (大磯町)
3月3日(火)	淡島神社の祭礼	淡島神社 (横須賀市)
3月8日(日)	第48回川崎市民俗芸能発表会	多摩市民館 大ホール (川崎市)
3月中旬頃	秋葉神社の火祭り ※詳細は直近に要確認	秋葉神社 (相模原市)
3月11日(水)～ 3月17日(火)	相模里神楽垣澤社中 第4回展示会 (E)	アミューあつぎ 5F アートギャラリー3 (厚木市)
3月22日(日)	相模里神楽垣澤社中 (みずき会) 第3回お浚い会 (E)	厚木シティプラザ 6F サイエンスホール 250 (厚木市)
3月27日(金)	仙石原湯立獅子舞 (A)	諏訪神社境内 (箱根町)
3月29日(日)	相模里神楽垣澤社中の公演 (E)	三嶋神社 (平塚市)

〈1月〉

● 鶏鳴神事 (歳旦祭)

期 日：1月1日 (木曜日・祝日) 午前零時～

場 所：瀬戸神社 (横浜市金沢区瀬戸18-14)

交 通：京浜急行線「金沢八景駅」下車、徒歩約2分

内 容：太古、現在の泥亀から釜利谷東一帯に至る入り江に、潮の干満により海水が渦を巻く急流、即ち「瀬戸」を生じ、その厳しさに罪穢れの浄化を、豊かさに生命の再生を託して海山の神々をお祀りしたのが瀬戸神社です。元日午前零時の歳旦祭で、氏子の年男が神社本殿の内外に向かって鶏の鳴き声を上げ、参拝者もこれに応じて幸福な年明けを祈願する「鶏鳴神事」(けいめいしんじ)は、鶏の鳴き声に導かれて太陽(天照大御神)が復活した「天岩戸開き」の故事を、神社の古例として伝承してきたものです。
新年の年男が本殿に向かい「コ、コ、コ、コ、コ、コケッコオー」と高らかに叫び、続いて外に向かって「コ、コ、コ、コ、コ、コケッコオー」と叫びます。

参拝者は「コケコッコウー」と応えます。この鶏の声を御神前で聞くことができれば、きっと良い年になるでしょう。

問合せ：瀬戸神社 TEL045(701)9992

● 御霊神社初神楽（元旦祭）

期 日：1月1日（木曜日・祝日）0時より

場 所：御霊神社（鎌倉市坂ノ下4-9）

交 通：江ノ電「長谷駅」より徒歩約4分

内 容：元日の午前0時から始まる元旦祭の中、神前にて神楽2座を舞います。この日から始まる一年間の平穏無事、国家安寧を祈って行われる神前舞です。

問合せ：御霊神社 当協会名を出しての電話連絡不可

● 下土棚祭りばやし（E）

期 日：1月1日（木曜日・祝日）10時30分ごろ～

場 所：白山神社（藤沢市下土棚1065）

交 通：小田急江ノ島線「長後駅」西口下車、徒歩約10分

内 容：下土棚祭りばやしは、曲目や踊りなどからみて、横浜方面から伝えられた下町囃子の系統と考えられています。曲目には、「ハヤ」「カマクラ」「シチョウメ」「オカザキ」「キリン」「カッコ」、難曲とされる「カンダマル」があります。囃子の基本構成は笛1人、大太鼓1人、小太鼓2人、すり鉦1人の五人です。また、お囃子だけでなく、獅子舞（二人立ち）やおかめ、ひょっとこ等の面を使った踊りも登場します。

問合せ：藤沢市生涯学習部 郷土歴史課 TEL0466(25)1111 内線5313

● 前鳥囃子と里神楽（E）

期 日：1月1日（木曜日・祝日）13時30分～（予定）

場 所：前鳥神社（平塚市四之宮4-14-26）

交 通：JR東海道線「平塚駅」北口よりバス、旧道四之宮経由田村車庫行き、田村経由本厚木駅南口行き、又は小田急線「本厚木駅」南口よりバス、平塚駅行き「前鳥神社前」下車、徒歩約3分

内 容：元日に前鳥神社神楽殿にて、平塚市指定重要無形文化財の前鳥神社囃子太鼓保存会による「前鳥囃子と里神楽」の公演を予定しています。

問合せ：平塚市教育委員会社会教育課 TEL0463(35)8124

● 田村ばやし（元旦祭初叩き奉納演奏）（E）

期 日：1月1日（木曜日・祝日）9時30分～（予定） 雨天中止

場 所：田村八坂神社（平塚市田村8-21-30）

交 通：JR東海道線「平塚駅」北口からバス、田村経由、本厚木駅南口方面行き、又は小田急線「本厚木駅」南口よりバス、平塚駅行き「田村十字路」下車、徒歩5分

内 容：元日に田村八坂神社にて、平塚市指定重要無形文化財の田村ばやし保存会による「田村ばやし」の元旦祭初叩き奉納演奏を予定しております。

問合せ：平塚市教育委員会社会教育課 TEL0463(35)8124

● 追雛祭

期 日：1月2日（金曜日）20時～

場 所：寒川神社（高座郡寒川町宮山3916）

交 通：JR相模線「宮山駅」より徒歩5分

内 容：本殿での祭典が終ると、境内の一切の灯火が消され、暗闇の中、鳥居前と拝殿前の2ヶ所を中心に特殊な神事が行われます。その式では、最初に拝殿前にて奉仕者（神職）の召し立てを行い、次いで鳥居前に移動して、奉仕者各自に甲（蔓をわがねた物）・太刀（木の棒）・金手木（木の棒）・弓（皮のついたままの生木で作った小さなもの）・矢（芦で作る）等を授け、奉仕者前の地面に「清前」という浄水を撒きます。更に矢を数える次第が行われます。これを終える一同「難波の小池」と大声で叫びながら、太鼓の先導で行列し、拝殿前に移動、ここで再度、甲以下を授け散水する式があり、終って再び行列して社殿の中に入ります（ここから先は一般の立ち入りは出来ません）。社殿内には「追雛板」という机のようなものが用意されており、これを渡されてある太刀・金手木の棒で乱打し、程なくして神事が終了、再度明かりが点灯します。神事終了後、神前に供えられた手作りの「黒木の弓・芦の矢」が災難除けのお守りとして参詣者に授与されます。

「難波の小池」という池は神社本殿の裏にある泉で、清崎の水もここから汲むことになっています。この行事の意図としては年頭に当たり、悪鬼の類を大きな音や武具で追い払い、或いは退治するということと言われています。

問合せ：寒川神社 TEL0467(75)0004(代)

● 庖丁式 横浜萬屋心友会・横浜興禅寺雅楽会

期 日：1月2日（金曜日）11時～12時／14時～15時

場 所：三溪園（横浜市中区本牧三之谷58-1）

交 通：JR京浜東北・根岸線「根岸」駅下車、市バス10分、「本牧」下車、徒歩10分
横浜駅東口から市バス35分、「三溪園入口」下車、徒歩5分

内 容：式題「宝船之鯛」 出演 横浜萬屋心友会・横浜興禅寺雅楽会

庖丁式と呼ばれ、食材にはいっさい手を触れずに箸と包丁のみで魚や鳥をさばく伝統的な儀式。神や天皇に料理を捧げるのにあたって、今から1100年ほど前の平安時代、その作法が確立したといわれています。その後公家や武家の間にも広く行われるようになり、今日では調理に対する心構えを磨くたしなみとして、おもに料理人の間に受け継がれています。式の間中に、雅楽の演奏を披露します。

*参加チケットの申込みはオンラインチケットサービスPeatix（販売中）を利用

問合せ：三溪園 TEL045(621)0634

● 新城郷土芸能囃子曲持保存会の正月囃子獅子舞(門付け)

期 日：1月2日（金曜日）・3日（土曜日）

場 所：川崎市中原区新城地区

午前8時50分頃新城神社をスタートし、2日は上新城地区を、3日は下新城地区を巡ります。

交 通：JR南武線「武蔵新城駅」下車、徒歩約7分。南口を出て「あいもーる」（アーケード通り）を直進しアーケードの出口で左折、「ゆうゆう通り」を約200m直進。

内 容：新城の正月獅子舞は戦前から行われていましたが、戦争の影響で一度途絶え、昭和52（1977）年に復活しました。新城郷土芸能囃子曲持保存会会員が毎年正月の2日、3日に、2班に分かれて後援者宅を中心に新城地区の家々を訪問し、悪魔祓いの獅子舞を行っています。

※新城郷土芸能囃子曲持保存会は、昭和48（1973）年に結成され、昭和53（1978）年に囃子曲持が川崎市重要習俗技芸（川崎市指定文化財）に指定されています。

問合せ：新城郷土芸能囃子曲持保存会 千葉康史 TEL090(3339)9356
詳細は保存会ホームページ(下記)にてご確認ください。
<http://home.g00.itscom.net/geinou>

● 相模里神楽垣澤社中の公演（E） 予定

期 日：1月3日（土曜日）15時

場 所：京橋エドグラン

交 通：銀座線「京橋駅」から徒歩約0分

内 容：寿獅子舞で新春を祝い、地元木遣り保存会と共に各商店街を回り厄払いを行います。

演 目：寿獅子舞・他 ※演目の変更や時間の遅延もあります。

問合せ：相模里神楽 垣澤社中(垣澤) TEL/Fax 046(229)0485
E-mail; info@kakizawa-company.com <https://www.sagami-satokagura.com>

● 手斧始式・鎌倉木遣唄（E）

期 日：1月4日（日曜日）13時より（二の鳥居出発は12時30分頃）

場 所：鶴岡八幡宮（鎌倉市雪ノ下2-1-31）

交 通：JR横須賀線・江ノ電「鎌倉駅」東口より徒歩約10分

内 容：手斧始は各地で行われている新年の行事ですが、鶴岡八幡宮の手斧始式は、八幡宮造営の時から歴史を持つとされており、現在も中世を彷彿させる儀式が執り行われます。当日は12時30分に儀式に使われる御神木と木遣唄の列が二の鳥居を出発、段葛を八幡宮まで進みます。13時から境内舞殿前に設けられた祭場で神事が行われ、その後、烏帽子直垂姿の関係者によって古式に則った大工作業の所作が行われます。一連の行事が終了すると、舞殿の前で鳶職組合による梯子乗りの演技が行われます。梯子乗りは八幡宮境内での演技の後、市内の豊島屋前、宝戒寺でも行われます。また、当日参加する鎌倉鳶職組合木遣保存会による鎌倉木遣唄は市指定の文化財となっています。

問合せ：鶴岡八幡宮 TEL0467(22)0315

● 鎌倉市消防出初式・鎌倉木遣唄（E）

期 日：1月6日（火曜日）10時より

場 所：山崎浄化センター（鎌倉市山崎354-2）

交 通：湘南モノレール「富士見町駅」徒歩約10分、バス利用の場合「大船駅」東口より江ノ電バス藤沢駅北口行き「フラワーセンター入り口」または手広、津村、

江ノ島方面行き「山崎」下車すぐ

内 容：新春の恒例行事として全国各地で行われています。鎌倉市では当日、市内の消防職員、消防団員が集合し、消防に関する様々な行事が行われます。その中、市内の民俗芸能として、鎌倉鳶職組合木遣保存会による鎌倉木遣唄と梯子乗りが披露されます。

また、13時から鎌倉市役所前にも鎌倉木遣唄と梯子乗りが演じられます。市役所での演技は例年、御用始めの1月4日に行われるものですが、本年は4日が日曜に当たるため、6日に変更となったものです。

鎌倉市役所は鎌倉駅西口から徒歩約5分です。

問合せ：鎌倉市消防本部消防総務課 TEL0467(44)0982

● 八雲神社初神楽・鎌倉神楽（E）

期 日：1月6日（火曜日）15時より

場 所：八雲神社（鎌倉市大町1-11-22）

交 通：JR横須賀線・江ノ電「鎌倉駅」東口より徒歩約10分

内 容：一年間の平穏無事、国家安寧、氏子繁栄を祈って、その年の初めに境内で奉納される鎌倉神楽です。祭典では神職4人が神楽を舞います。神楽の最後に、参拝者に向けて蜜柑撒きが行われます。

問合せ：八雲神社 TEL0467(22)3347

● 田名八幡宮の的祭（E）

期 日：1月6日（火曜日）12時30分～

場 所：田名八幡宮（相模原市中央区水郷田名1-8-28）

交 通：JR横浜線「橋本駅」「相模原駅」「淵野辺駅」からバス「水郷田名」行き終点「水郷田名」下車、徒歩5分

内 容：豊凶（ほうきょう）を占う歩射（ぶしゃ）行事で、郷土の風俗慣習を知る上で極めて貴重なものです。起源は、古記録「鎮守（ちんじゅ）祭礼人数帳」によれば、源頼朝の時代といわれていますが、「八幡宮縁起」には元禄時代とも記されています。現在は、神官がくじ引きで正副の射手を決め、弓矢を授け、天地大明神に参拝後、的場につき計12回射て、その年の作物などの豊凶を占います。射手は3歳から5歳の男児で、前年に不幸のなかった家から選ばれます。

毎年1月6日に行われています。

問合せ：相模原市教育委員会文化財保護課 TEL042(769)8371

● 白髭神社の奉射祭（E）

期 日：1月7日（水曜日）10時～

場 所：白髭神社（小田原市小船669）

交 通：JR東海道線「国府津駅」下車、「二宮駅北口」「橋団地」行神奈中バス「下中駐在所前」下車、徒歩約1分

内 容：白髭（しらひげ）神社の奉射祭（ぶしゃさい）は、小田原市の無形民俗文化財に指定されています。その年の五穀豊穰の吉凶を占う新年の神事で、毎年1月7日に古式にのっとり行われます。神前に狩衣の二人の射手が進み宮司からお祓

いを受けた後、境内の竹で作った弓で的に向かって7本の矢を放ちます。この当たりによって、吉凶を占います。的の上部には境内の樺の木で作った鳥形（ツバメ）がつるされ、最後の一矢が射られると観衆が的に飛び込み鳥形を奪い合います。これを家に持って帰り、戸口につるしておくといふ厄除けになり、1年中幸運に恵まれるということです。

問合せ：小田原市文化財課 Tel0465(33)1717

● 大注連祭（オシメヨリ）

期 日：1月8日（木曜日）9時～

場 所：白山神社（鎌倉市今泉3-13-20）

交 通：JR東海道線、横須賀線、京浜東北線「大船駅」東口より江ノ電バス鎌倉湖循環「白山神社前」すぐ

内 容：今泉に建つ白山神社に伝わる民俗行事です。当日はムカデを模した長さ約6メートルの注連縄を新しく架け替えます。大注連縄は祭礼当日の朝に氏子達が縋います。新しい注連縄を架け終えると祭典となります。明治以前、同神社は毘沙門堂として祀られており、その本尊である毘沙門天の使いがムカデであることからムカデ形とされる注連縄を作るようになりました。また、ムカデが田の蛭の害から守ってくれた、との伝承から始められた行事とも云われています。

問合せ：五社稲荷神社 Tel0467(47)4798

● 武佐弓祭

期 日：1月8日（木曜日）10時～

場 所：寒川神社（高座郡寒川町宮山3916）

交 通：JR相模線「宮山駅」より徒歩5分

内 容：社殿での祭典に引き続き、神門内の内庭の一角に設けられた祭場で、的を射る神事が行われます。祭場には青竹に懸けられた大的（その中心には小的を重ねて懸ける）があり、大的には「鬼」の解体文字と思われる、「甲」「乙」「ム」の組み合わせ文字が大書されています。的から少し離れた座に着いた禰宜二名が、一人2本ずつ交互に矢を3回射て、その当たり具合によりこの年の吉凶が占われます。矢を射る際には独特の神歌が唱えられ、横笛の奏楽が奏でられます。尚、的の両脇には麻の束が懸けられており、神事終了後安産のお守りとして参詣者に配られます。

問合せ：寒川神社 Tel0467(75)0004代

● 山北の道祖神祭（川村囃子の演奏）（E）

期 日：1月10日（土曜日）花車庭回り（一部地域）のみ実施 17時～18時30分

1月11日（日曜日）花車・神輿町内巡行 13時30分～17時

場 所：山北町山北地内（JR御殿場線山北駅周辺）

交 通：JR御殿場線「山北駅」下車

内 容：山北地区の道祖神祭では花車6台、神輿3基が山北駅周辺を巡行し、駅前で行われる式典等で川村囃子を演奏します。山北の道祖神のように、昔の形態が存続しているのは県西地域でも珍しいものです。山北町山北及び岸に伝わる川村

囃子は江戸祭り囃子の系統に属し、江戸時代中期以前に小田原市の多古（旧足柄村）の白山神社の祭り囃子として取り入れたものが源流となり、後に相模川以西の各地の祭礼に取り入れられたと考えられています。

問合せ：山北町教育委員会生涯学習課 TEL0465(75)3649

● **小田原囃子（新年太鼓初め）（C）**

期 日：1月11日（日曜日）15時30分～

場 所：白山神社（小田原市扇町5-7-29）

交 通：大雄山線「五百羅漢駅」または小田急線「足柄駅」下車、徒歩約3分

内 容：小田原囃子多古保存会による新年の太鼓初めです。江戸時代、武蔵国葛飾地方発祥の葛西囃子（かさいばやし）が江戸市中に広まり始めた頃、城下町であった小田原にも伝わり改良を加えられたものが小田原囃子とされます。当時小田原の寺町にあった歌舞伎小屋「桐座（きりざ）」の芸人が演じたものを地元の若い衆が覚え多古に伝えた、との伝承があり、現在は道祖神祭りや白山神社の祭礼で奉納されています。

問合せ：小田原市文化部文化財課 TEL0465(33)1717

● **汐祭り（坂ノ下海岸）**

期 日：1月11日（日曜日）10時より

場 所：坂ノ下海岸（鎌倉市坂ノ下）

交 通：江ノ電「長谷駅」より徒歩約7分

内 容：一年間の海上安全と大漁を祈願して、鎌倉漁業協同組合の主催によって行われる祭事です。式典では御霊神社宮司による鎌倉神楽2座が波打ち際で奉納されます。

問合せ：御霊神社 当協会名を出しての電話連絡不可

● **潮神楽（材木座海岸）・鎌倉神楽（E）**

期 日：1月11日（日曜日）10時より

場 所：材木座海岸（鎌倉市材木座）

交 通：横須賀線・江ノ電「鎌倉駅」より京急バス小坪方面行き「材木座」下車すぐ

内 容：一年間の海上安全と大漁を祈願して材木座海岸の砂浜で行われる神事です。かつては鎌倉漁業協同組合の主宰でしたが、現在は五所神社（材木座）の主宰による新春の行事として親しまれています。当日の祭典では、海岸で神職3人による12座の鎌倉神楽が奉納されます。また、海岸では祝い唄である鎌倉天王唄が保存会によって奉納され、正月飾りやしめ縄を集めどんど焼き（ドンドン焼き、左義長）が行われます。

問合せ：八雲神社 TEL0467(22)3347

● **根府川の福踊り**

期 日：1月11日（日曜日）どんど焼き 13時30分～火入れ 14時～福踊り

場 所：根府川寺山神社（小田原市根府川95-1）

交 通：JR東海道線「根府川駅」下車、徒歩約3分

内 容：根府川寺山神社の道祖神祭りで踊る地域に伝わる「福踊り」は、新しい年の家内安全や無病息災を祈る大変に縁起の良いめでたい踊りです。おかめとひょっとこの面をつけた子どもたちが、羽織か割烹着を前後逆に着て、おなかにザルを入れ、腰をしめ縄でしばった衣装で、日の丸の扇子を両手に持って踊ります。

問合せ：小田原市文化財課 Tel0465(33)1717

● 第1077回 筒粥神事（E）

期 日：1月14日（水曜日）14時～16時

場 所：師岡熊野神社（横浜市港北区師岡町1137）

交 通：東急東横線「大倉山駅」下車、徒歩約8分

内 容：筒粥とは稲作民族の間で行われる粥占・粥だめしの一種で、竹筒や葎の筒を入れて粥を煮、筒の中に入った米粒の量で作柄・豊凶や天候を占う年占です。師岡熊野神社では、境内に設けた斎場の中に大釜を据え、早朝から白米と神木槲の葉・葎の筒 27 本を入れて粥を煮ます。午後、神事後この葎筒を切り開いてその中に入った米粒の量により、農作物の作柄などを占札に記入します。粥は参詣者に供せられ、これを頂くと風邪をひかないと言い伝えられています。

問合せ：師岡熊野神社 Tel045(531)0150

● チャッキラコ（A）＊ユネスコ無形文化遺産（風流踊）

期 日：1月15日（木曜日）10時30分

場 所：海南神社（三浦市三崎4-12-11）

交 通：京浜急行「三崎口駅」より2番線バス乗場から城ヶ島行き、通り矢行き、三崎港行きに乗り20分、「三崎港」下車、徒歩3分

内 容：チャッキラコは、小正月の女性だけの行事として、江戸時代の中頃から三崎の花暮と仲崎地区に伝えられています。10人ほどの音頭取りの唄に合わせ、4・5歳～12歳までの少女20人前後が舞扇や20cmほどの竹の両端に五色の短冊と鈴を付けた「チャッキラコ」と称する小道具を打ち鳴らして踊ります。踊りは「ハツイセ」「チャッキラコ」「二本踊り」「よさき節」「鎌倉節」「お伊勢まいり」の6種類があります。当日、午前10時に花暮の本宮に踊りを奉納し、10時30分ころ海南神社の社殿前で踊りを奉納します。午後は、旧家や老舗商店等を回り豊漁や家内安全、商売繁盛などの願いを込めて踊ります。現在は、「ちゃっくらこ保存会」により継承され、三浦の伝統文化として少女達が受け継いでいます。

問合せ：三浦市役所市民部文化スポーツ課 Tel046(882)1111（内線）412

● 小動神社例祭・鎌倉神楽（E）

期 日：1月16日（金曜日）10時より

場 所：小動神社（鎌倉市腰越2-9-12）

交 通：江ノ電「腰越駅」より徒歩約5分

内 容：小動神社の例祭です。

当日は、8座の鎌倉神楽が3人の神職によって奉納されます。

参拝客達は笹の葉で撒き散らす湯花を浴び、一年間の無病息災を願います。

問合せ：八雲神社 Tel0467(22)3347

● 第31回どんど焼き

期 日：1月17日（土曜日）10時～15時 13時～火入れ

場 所：海の公園（横浜市金沢区）

交 通：シーサイドライン「海の公園南口駅」、「海の公園柴口駅」、または「八景島駅」からすぐ

内 容：お正月に使った門松や注連縄、お守り、破魔矢、祈願成就した「だるま」などを持ち寄って焚く、どんど焼きが開催されます。金沢区木遣囃子連絡協議会による木遣・お囃子・獅子舞の演舞を行います。小雨決行・荒天中止

問合せ：一社）横浜金沢観光協会 TEL045-780-3431

● 大磯の左義長（A）

期 日：1月17日（土曜日）

場 所：大磯北浜海岸（左義長）、各道祖神（七所参り）

交 通：JR東海道本線「大磯駅」下車徒歩約10分

内 容：北浜海岸で行われるセエノカミサン（道祖神）の火葬を中心とした行事で、セイトバレエ、ドンドヤキなどとも呼ばれています。由来は、昔この辺りで目一つ小僧と呼ばれる厄神が、村人のおこないを帳面に書いてまわっていたところ、夜が明けてしまい慌てて帳面をセエノカミサンに預け、そのまま帰ってしまい、帳面を預かったセエノカミサンは困り果て、自分の家とともに帳面を燃やしてしまいました。これがセイトバレエ（左義長）の始まりとされています。お祭り前の数日間、地元の人たちはセエノカミサンにお参りして歩きます。特に七ヶ所に参ることを七所参りといいます。今日では七ヶ所から一つ増えて「七所参って八所（ヤアトコ）せ」などとはやす事もあります。あげられた賽銭は子どもたちの小遣いとなり最年長の子が分配します。祭り当日、町内各所のおんべ竹やお仮屋などを片付け、集められたお飾りや縁起物を浜辺に運んで9つの大きな円錐形のサイトが作られ、日が暮れると9つのサイトに火が入れられます。セエノカミサンの宮元や宮世話人が、その年の恵方に火をつけます。この火で団子を焼いて食べると風邪をひかない、燃やした書き初めが高く舞い上がると腕が上がる、松の燃えさしを持ち帰って屋根に載せておくと火災除けのまじないになるともいいます。そして、セエトの火が燃え盛る頃、若い衆が裸になってソリ状の台に載せたセエノカミサンの仮宮を壊して海に引き入れ、さらに浜方と陸（おか）方に分かれて綱を引き合う、ヤンナゴッコという珍しい行事も行われます。（「大磯町の観光情報サイト」より）

問合せ：大磯町教育委員会教育部生涯学習課 電話0463(61)4100（内線323）

● 相模里神楽垣澤社中の公演（E・厚木市）神戸道祖神神社祭礼

期 日：1月18日（日曜日）14時～15時

場 所：神戸公民館（伊勢原市神戸）

交 通：小田急小田原線「伊勢原駅」北口からバスで8分「神戸バス停」下車、バス停から徒歩約5分

内 容：里神楽は「古事記」や「日本書紀」など、古代日本の神話を題材に、面を付け

て行われる仮面黙劇で、神代神楽と呼ばれる神事芸能です。

演目：寿獅子舞・(寸劇・面芝居)絵本太功記九段目

※演目の変更や時間の遅延もあります。

問合せ：相模里神楽 垣澤社中(垣澤) TEL/Fax046(229)0485

E-mail:info@kakizawa-company.com <https://www.sagami-satokagura.com>

● 聖徳太子講・鎌倉木遣唄 (E)

期 日：1月22日(木曜日)13時より

場 所：金竜山宝戒寺(鎌倉市小町3-5-22)

交 通：JR横須賀線・江ノ電「鎌倉駅」東口より徒歩約13分、バス利用の場合「鎌倉駅」東口より京急バス金沢八景、太刀洗、大塔宮方面行き「大学前」下車すぐ

内 容：聖徳太子を主に建築や土木の職能神として祀る「太子講」として各地に伝わり、広く知られている職人たちの講です。宝戒寺では当日、鎌倉周辺の建築業関係者が集まり、境内の太子堂で護摩供養と読経が行われ、その後、鎌倉鳶職組合木遣保存会による鎌倉木遣唄が奉納されます。(梯子乗りは行いません)

問合せ：金竜山釈満院円頓宝戒寺 TEL0467(22)5512

● 板橋地蔵尊大祭

期 日：1月23日(金曜日)8時～19時

1月24日(土曜日)8時～15時

場 所：宗福院地藏堂(小田原市板橋)

交 通：箱根登山線「箱根板橋駅」から徒歩約10分

「小田原駅」から元箱根・湯本・板橋駅方面行バス「上板橋」下車、徒歩約5分

※駐車場がありませんので、公共の交通機関をご利用ください。

内 容：例年1月と8月の23・24日に行われます。「ろうそくをあげると故人が成仏する」「故人に瓜二つの人に会える」という信仰があり、多くの善男善女で賑わいます。また23日には露店が並びます。

問合せ：南谷山香林寺 TEL0465(22)7240

● 上町屋天満宮例祭・鎌倉神楽 (E)

期 日：1月25日(日曜日)14時より

場 所：上町屋天満宮(鎌倉市上町屋山ノ根616)

交 通：湘南モノレール「町屋駅」より徒歩約10分

内 容：初天神祭。式典のあと境内にて神職による鎌倉神楽が奉納されます。神職5人によって8座の鎌倉神楽が行われます。

問合せ：御霊神社 当協会名を出しての電話連絡不可

● 第46回 新春はやし叩き初め大会 (E)

期 日：1月25日(日曜日)10時～15時45分まで

場 所：海老名市立総合福祉会館大広間(海老名市めぐみ町6-3)

交 通：小田急小田原線・相鉄線「海老名駅」西口

JR相模線「海老名駅」東口より徒歩5分

内 容：令和7年9月に海老名市指定重要無形民俗文化財として「海老名の祭囃子」に指定、保存団体として認定した「海老名市はやし保存連絡協議会」に所属する市内15地区のはやし保存団体が一堂に会し、笛や太鼓を威勢よく演奏します。
また、海老名市ちふれんによる「大黒舞」も披露されます。

主 催：海老名市はやし保存連絡協議会・海老名市教育委員会

問合せ：海老名市教育委員会教育部教育総務課文化財係 TEL046(235)4925

● 満福寺の火伏まつり

期 日：1月28日（水曜日）正午～15時（火渡りは13時～）

場 所：延寿山成就院満福寺（小田原市中里487）

交 通：JR東海道線「鴨宮駅」から「ダイナシティ」行バス終点下車、徒歩約8分

JR東海道線「国府津駅」から「鴨宮駅」行きバス「中里」下車、徒歩約3分

内 容：満福寺は建長6年（1254年）に箱根金剛王院（現：箱根神社）の僧により創建されたと伝えられる古刹で、現在は東寺真言宗に属しています。「満福寺の火伏まつり」は、江戸時代から始められたといわれ、山伏問答などを行った後、境内の庭につまれた旧年のお札やしめ飾りに火をつけ、読経の中、素足の山伏に続き、一般参拝者も無病息災を願い、火渡りを行います。

問合せ：延寿山成就院満福寺 TEL0465(42)1235

● 武山初不動

期 日：1月28日（水曜日）麩菓子などの販売は午前7時～

場 所：武山山頂 武山不動院（横須賀市武1-3040）

交 通：京浜急行線「横須賀中央駅」またはJR横須賀線「横須賀駅」より長井方面行バス「長井行」「三崎口行」他、中央駅から約30分、JR横須賀駅から約40分。京浜急行線「YRP野比駅」から「市民病院行」約20分。いずれも「竹川」又は「一騎塚」バス停下車、徒歩約40分

内 容：武山不動院本尊の不動明王がご開帳となる毎年恒例の行事です。
一年の無病息災などを願い多くの人々が参詣し、参道にはたくさんの露店が立ち並びにぎわいます。笹についた麩菓子は、笹はつり竿、麩菓子は魚に見立てられており、名物となっています。漁師や廻船の船頭たちは、武山を漁場の位置や港の方向を知る目印にしていました。このため、豊漁や海上の安全に霊験あらたかな不動尊としてあつい信仰が寄せられ、別名「**波切不動**」とも呼ばれています。

問合せ：武山不動院 TEL046(845)6652

● 岩屋不動尊初護摩供

期 日：1月28日（水曜日）10時頃～ 第一回目の護摩（以後15時頃まで数回実施）

場 所：岩屋不動尊（石籠山不動尊）（藤沢市片瀬2-3-23）

交 通：江ノ島電鉄線「柳小路駅」下車徒歩約15分または「藤沢駅」南口より江ノ電バス藤ヶ谷経由片瀬山方面行き「岩屋不動入口」下車徒歩約5分

内 容：1月28日は初不動の縁日に当り、各地の不動明王を祀る寺院では行事が行われます。片瀬の岩屋不動尊は名前の通り岩屋の中に石造不動明王が祀られており、

その岩屋の入り口の前に護摩壇を用意して、近隣寺院から集った高野山真言宗の僧侶によって、数回護摩供が修されます。又、以前は同日に町内の行事として行われていた餅搗きも、一度途絶えたものを別当泉蔵寺御住職が取り入れて、境内で行われるようになりました。餅つきでは、最初千本杵で糯米をこねた後、小さな横杵を使い数人で餅を搗く時、地区伝承の餅搗き唄が唄われます（但しこれは唄うと決まっているわけでないので、唄われないこともあります）。尚、護摩札の申し込みは当日でも受け付けてくれます。

問合せ：片瀬山大聖院泉蔵寺 Tel0466(22)6353

〈2月〉

● 相模人形芝居下中座 小竹公演（19回）（A）

期 日：2月1日（日） 11時開演

場 所：小田原市小竹公民館（2階）

交 通：JR東海道本線「二宮駅」南口バス中井町役場入口行き「坂呂橋」下車、徒歩1分

内 容：『菅原伝授手習鑑 寺子屋の段』

太夫 佐藤光昭 三味線 竹本土佐子

下中座の活動拠点の小竹公民館で年1回行っている公演です。小さな舞台ですが、お客様と近い楽しい公演です。

問合せ：相模人形芝居 下中座 座長 佐藤 光昭

メール：hapsatomi@gmail.com

● 佐助稲荷神社初午祭・鎌倉神楽

期 日：2月2日（月曜日）12時より

場 所：佐助稲荷神社（鎌倉市佐助2-22-12）

交 通：JR横須賀線、江ノ電「鎌倉駅」西口より徒歩約20分

内 容：佐助稲荷神社の初午祭で鎌倉神楽が奉納されます。大勢の参拝客で賑わう中、神職により1座演じられます。

問合せ：御霊神社 当協会名を出しての電話連絡不可

● 第56回小田原梅まつり・曾我別所寿獅子舞（E）

期 日：梅まつり開催期間は2月7日（土曜日）～3月1日（日曜日）

寿獅子舞は2月8日（日曜日）・15日（日曜日）・22日（日曜日）・23日（月曜日・祝日）のそれぞれ13時～と15時～（未確定）

※雨天の場合は中止

※詳細は「曾我別所梅まつり観光協会」ホームページで確認できます。

場 所：曾我梅林別所会場（小田原市曾我別所、梅林総合案内所南側梅林内特設会場）

交 通：JR御殿場線「下曾我駅」下車、会場へは徒歩15分

内 容：江戸時代より郷社宗我神社に氏子の無病息災と豊年を祈願して 奉納されてきた獅子舞に、戦争中疎開していた吉原の幫間が、コミカルな獅子とヒョットコたちの動きを加えたものが寿獅子舞です。曾我の梅林を借景して舞われる獅子舞は曾我梅林の名物として多くの観光客に親しまれています。

問合せ：〈芸能について〉小田原市文化財課 Tel0465(33)1717

〈梅まつりについて〉小田原市観光協会 Tel0465(20)4192

● いなりっこ (E)

期 日：2月11日（水曜日・祝日）10時ごろ～

場 所：海南神社（三浦市三崎4-12-11）

交 通：京浜急行「三崎口駅」より2番線バス乗場から城ヶ島行き、通り矢行き、三崎港行きに乗り20分、「三崎港」下車、徒歩3分

内 容：「いなりっこ」は、農村の豊作を祈願する信仰の一つで、稻荷講がなまった呼名といわれています。子ども達が面をつけて、踊りや茶番劇を披露するようになったもので、かつては節分や初午の日に各地区で夜遅くまで踊り、大変な賑わいを見せたといえます。この2月11日は、奉納いなりっこと呼ばれ、海南神社敷地内の福德稻荷に「国固め」「天狐の舞」「恵比寿の舞」などの演目が奉納されます。

問合せ：三浦市役所市民部文化スポーツ課 Tel046(882)1111（内線）412

● 世附の百万遍念仏 (C)

期 日：2月14日（土曜日）・15日（日曜日）

2月14日は13時～14時（数珠回し）、14時～15時30分（獅子舞、遊び神楽）

2月15日は10時～12時（数珠回し）、13時～14時（数珠回し）、

14時～15時30分（獅子舞、遊び神楽）、15時30分～16時（カガリ）

場 所：能安寺（山北町向原）

交 通：JR御殿場線「東山北駅」下車、徒歩約5分／小田急小田原線「新松田駅」下車、富士急バス「向原バス停」下車、徒歩約3分

内 容：県指定無形民俗文化財「世附の百万遍念仏（ひやくまんべんねんぶつ）」は、600年前から伝承されているという念仏信仰で、以前は山北町世附の能安寺で行なわれていましたが、三保ダムの建設に伴い、現在では山北町向原に移転された能安寺で行なわれています。世附の百万遍念仏は、302個の珠を持つ大数珠を巨大な滑車に取り付け、数珠を回転させる全国的にも珍しい行法です。念仏芸として注目されるのは、念仏声に平音（ひらね）、中音（ちゅうね）、高音（たかね）の三音階があり、指揮者が白の指揮棒を差し出すと平音、色紙幣は中音、白幣は高音で念仏が唱えられます。念仏が終わると獅子舞が始まります。獅子舞は、「姫の舞」「幣の舞」「狂いの舞」「剣の舞」があり、遊び神楽に、「二上がりの舞」「おかめの舞」「鳥さしの舞」があります。道場の天井には山から刈り取ってきたスゲ草で縄を作り、赤・白・青・黄・黒の五色の小さい幣を吊り下げ、しめ飾りを天井いっぱいにはります。このしめ縄を家に持ち帰り、戸口にかけると厄病除けになるといわれています。

問合せ：山北町教育委員会生涯学習課 Tel0465(75)3649

● 第53回相模人形芝居大会 (A) (C) 【要事前申込】

期 日：2月15日（日曜日）開場12：00 開演12：30 終演16：30（予定）

場 所：南足柄市文化会館（金太郎みらいホール）大ホール

交 通：大雄山線「大雄山駅」下車、徒歩5分

小田急線「新松田駅」下車して箱根登山バス「南足柄郵便局」下車徒歩5分
内 容：相模人形芝居は今からおよそ250年前に江戸から相模地方一帯に伝えられた人形芝居で、一体の人形を3人の人形遣いが息を合わせて動かす「三人遣い」と、「鉄砲差し」という独特の操作方法に特徴があります。その伝統を受け継ぐ県内の五座が一堂に会し、日頃の鍛錬の成果を披露します。

【演目・出演者】

艷容女舞衣 酒屋の段

太夫：小島 信男 三味線 竹本 土佐子

人形：相模人形芝居 林座（厚木市）

人形芝居教室 講師：相模人形芝居 下中座（小田原市）

鎌倉三代記 三浦別れの段

太夫：榮谷 佳子 三味線 竹本 土佐子

人形：相模人形芝居 前鳥座（平塚市）

菅原伝授手習鑑 寺子屋の段（奥）

太夫：佐藤 光昭 三味線：竹本 土佐子

人形：相模人形芝居 下中座（小田原市）

伽羅先代萩 政岡忠義の段

太夫：朝倉 輝美 三味線：竹本 土佐子

人形：相模人形芝居 長谷座（厚木市）

伊達娘恋緋鹿子 火の見櫓の段

太夫：入江 敦子 三味線：竹本 土佐子

人形：相模人形芝居 足柄座（南足柄市）

鑑 賞：事前申込制（定員750人・抽選）

申込方法： オンラインまたは往復はがきで申し込みしてください。

【オンラインの場合】

お申込みフォーム



上記の二次元コードを読み込み、必要事項を入力し送信ください。
返信メールを入場券として使用します。

締め切り：1月9日（金曜日）

※1件につき、お申込みは2名までです。

※1月下旬に当落メールをお送りします。大会当日は当選メール（画面またはプリント）をご提示ください。

※座席は抽選により決定します（車いす席は除く）
下記の南足柄市サイトからも詳細の確認ができます。

<https://www.city.minamiashigara.kanagawa.jp/kurashi/manabi/bunka/p03349.html>

【往復はがきの場合】

往復はがき1枚に①郵便番号②住所③氏名④電話番号⑤参加人数⑥参加者氏名⑦返信用宛先を明記し、南足柄市市民部文化スポーツ課（〒250-0192 南足柄市関本440）までお送りください。

締め切り：1月9日（金曜日）・当日消印有効

※はがき1枚につきお申込みは2人までです。

※往復はがき以外のお申し込みはお受けできません。

※応募者多数の場合は抽選となります。

※1月下旬ごろ、応募者全員に抽選結果及び当選の方には「入場券（指定席）」を返信はがきにて送付します。また、座席は抽選により決定します。
（車いす席は除く）。

問合せ：相模人形芝居連合会事務局（南足柄市市民部文化スポーツ課）TEL0465-73-8062

● 祈年祭（田打舞神事）

期 日：2月17日（火曜日）10時～

場 所：寒川神社（高座郡寒川町宮山3916）

交 通：JR相模線「宮山駅」より徒歩5分

内 容：祈年祭の祭典の後、本殿で中世以来の田遊び系芸能の呼格を受け継ぐとされる「田打舞」という神事舞が演じられます。この行事は別名「福種蒔き」とも呼ばれ、大正時代に改作されたものの、平成3年に復興田打舞として古式の再現が試みられて現在に至っています。白尉・黒尉の面を着けた神職らによって次々と採り物を替えながら、古風な唄に従って稲作作業の模擬演技が行われます。舞の中で蒔かれた種粃を拾って帰り、自家の粃種に混ぜて苗代に播種すると稲が豊作になると信仰されています。現在の演目は以下の通りとなっていますが、これは伝承されている唄の詞章によって区切られているものです。

【演目】1. 田打ち 2. 草敷・代ならし 3. 種蒔き 4. 苗ほめ 5. 昼飯（ひるい） 6. 田植え 7. 稲刈り 8. 稲叢（いなむら）

なお、田打舞は神事として本殿内にて行われます。一般参拝者の方は建物の外から見学するようになります。

問合せ：寒川神社 TEL0467(75)0004代

● 福德稻荷大祭・午（うま）まつり

期 日：2月21日（土曜日）10時～15時

場 所：川崎大師境内福德稻荷堂（川崎市川崎区大師町4-48）（不動堂の隣）

交 通：京浜急行大師線（「京急川崎」駅で乗り換え）「川崎大師」駅下車、徒歩8分
JR「川崎」駅東口バス乗り場7番・川崎鶴見臨港バス[川23系統]大師行き・
「大師」バス停下車、徒歩8分

内 容：不動堂の隣にまつられている「福德稻荷」は、“お稲荷さん”として親しまれて

おり、五穀豊穰、商売繁盛の守護神として多くのご信徒が参詣しています。
お稲荷さんの大祭は、初午の日に行われるのが一般的ですが、川崎大師では2月のご縁日・21日に行われています。

当日は境内特設舞台において次の演目をご覧ください。

- ・川崎大師鼓楽会 祭囃子
- ・大師古民謡保存会 大師めでたや節
- ・土師流萩原社中 奉納神楽

問合せ：川崎大師平間寺 Tel044(266)3420

● 第46相模原市民俗芸能大会

期 日：2月23日（月曜日・祝日）13：00～

場 所：あじさい会館（相模原市中央区富士見6丁目1-20）

交 通：JR相模原駅南口バス乗場

1番乗場、淵野辺公園・大野台経由～相模大野駅行き、「市民会館前」下車すぐ

2番乗場、光が丘・北里大学経由～相模大野駅行き、「市役所前」下車徒歩1分

6番乗場、市役所前経由～上溝行き、「市民会館前」下車すぐ

小田急相模大野駅北口バスのりば

1番乗場、北里大学・光が丘経由～相模原駅行き、「市役所前」下車徒歩1分

2番乗場、大野台・淵野辺公園経由～相模原駅行き「市民会館前」下車すぐ

5番乗場、国道16号線経由～相模原駅行き、「警察前」下車徒歩5分

内 容：相模原市民俗芸能保存協会所属団体が一堂に会し、貴重な民俗芸能を披露します。

大島諏訪明神獅子舞保存会、下九沢御嶽神社獅子舞保存会、田名八幡宮獅子舞保存会、大沼土窯搗き唄保存会、藤野歌舞伎保存会、新田名音頭保存会、長徳寺盆踊保存会、麻溝ごぼう音頭保存会、ごうち唄保存会、上溝シャンソン保存会、招待団体

問合せ：相模原市教育委員会文化財保護課 Tel042(769)8371

〈3月〉

● 神田公民館まつり（E）

期 日：3月1日（日曜日）

場 所：神田公民館（平塚市田村三丁目12番5号）

交 通：平塚駅北口から新道経由田村車庫行き駒返橋入口下車徒歩5分。

内 容：神田公民館まつりにおいて、平塚市指定重要無形文化財の田村ばやし保存会による「田村ばやし」と「印場踊り」が披露されます。

問合せ：神田公民館 Tel0463(55)0239

● 白岩神社祭礼（E）

期 日：3月1日（日曜日）13時～

場 所：白岩神社（中郡大磯町西小磯853）

交 通：JR東海道本線「大磯駅」下車徒歩約20分

内 容：西小磯の氏神である白岩神社の祭りで、3月初旬におこなわれます。他の祭りにみられる賑やかさ、華やかさのイメージはなく、厳粛さの漂う祭りです。この祭りは11名の社人を中心に執行されており、社人は1番オンベ1名、2番オンベ1名、弓持ち2名、鍵取り1名、留守居番2名、御膳番3名、太鼓持ち1名と、それぞれ役目が決まっています。

このうち御膳番は台所番とも言い、祭りの準備はこの3名の手によって進められます。宵宮の早朝、台所番は海水で身を清めた後、当番の家でヤブサメに使用する弓矢、的、社人たちが口に挟むフクメンをはじめ、宵宮で供されるオスイモノと呼ばれる餅や神前へ供える紅白の餅をつくります。

宵宮では社人が整然と座し、お神酒とオスイモノをいただく冷酒の式がおこなわれます。翌日は斎場を白岩神社に移し、神前で式典をおこないます。

その後、社人たちはフクメンをくわえ、社殿を右回りに3回まわり、さらに同様に的のまわりをまわります。そして、弓持ちがそれぞれの的とアキの方に向けて矢を射るヤブサメがおこなわれます。なお、祭日が3月になったのは明治の中頃以降で、それまでは1月7日におこなっていたと伝えられています。まさに年頭にあって1年の安全や豊作、豊漁を祈念した行事であるということになります。

（「大磯町の観光情報サイト」より）

問合せ：大磯町教育委員会教育部生涯学習課 TEL0463(61)4100（内線323）

● 淡島神社の祭礼

期 日：3月3日（火曜日） 例大祭13時30分から（流し雛15時30分） 予定

場 所：淡島神社（横須賀市芦名1-18-29）と芦名海岸

交 通：JR横須賀線「逗子駅」、京急バス2番線乗り場又は京急逗子線「新逗子駅」から「長井」、「横須賀市民病院」方面行きのバス（逗子駅から約30分）、「大楠芦名口」下車徒歩約10分、

内 容：3月3日の雛祭に、横須賀芦名にある淡島神社の祭礼が行われます。「会わせてください淡島様よ、お礼参りは二人づれ」と昔から言われているように縁結び・安産の神様として、多くの女性の信仰を集めています。また、当日15時30分から近くの芦名海岸で「流し雛（びな）」に伴う神事が行われ、その後、雛人形を乗せた小船が神職や巫女が乗った船に曳かれ湾内を廻り、1年間のけがれや災いを人形に託す「流し雛」が行われます。

問合せ：淡島神社 TEL046(856)0707

● 第48回川崎市民俗芸能発表会

期 日：3月8日（日曜日）10時～15時10分 ＊入退場自由、無料

場 所：多摩市民館 大ホール（川崎市多摩区登戸1775-1）

交 通：JR南武線「登戸」駅から徒歩10分、小田急線「向ヶ丘遊園」駅から徒歩5分

内 容：川崎市域に根付いた民俗芸能を多くの方々に披露し、身近に感じてもらうため、川崎市民俗芸能保存協会に加盟している団体を中心に10団体が出演します。
・出演予定団体（出演順）

- ①五反田節保存会
- ②長尾子ども太鼓
- ③諏訪神社祭囃子保存会
- ④登戸古民謡保存会
- ⑤宿河原囃子保存会
- ⑥大戸神社祭囃子保存会
- ⑦大師古民謡保存会
- ⑧菅獅子舞保存会
- ⑨栗谷囃子保存会
- ⑩新城郷土芸能囃子曲持保存会

主 催：川崎市民俗芸能保存協会

共 催：川崎市教育委員会

問合せ：川崎市民俗芸能保存協会 TEL090(4537)1907

● 秋葉神社の火祭り ※詳細は直近に要確認

期 日：3月中旬頃

場 所：秋葉神社（相模原市緑区与瀬1774-1）

交 通：JR中央本線「相模湖駅」からバス「藤野駅」行き「貝沢住宅前」下車、徒歩約15分

内 容：この火祭りは横橋地区に古くから伝わる行事で、地元では「あきやさまのひでとぼし」と呼んでいます。「ひで」とは松の根の樹脂を含んだ部分で、これで松明を作ります。火祭りの始まりの確かな記録はありませんが、言い伝えでは明治初期にはすでに行われていたようです。静岡県浜松市春野町の秋葉山本宮は、火之迦具土大神を祀る火防の神社として有名ですが、横橋地区に勧請された経緯は、江戸時代末期の大火記録がみられるように、度々大きな火災に見舞われたことによるものと言われます。昭和30年代頃までは、各戸松明を作り神社参道入り口に立て灯していましたが、山火事の危険やヒデの採集困難などにより次第に衰退しました。しかし、伝統行事の継承のため、平成元年に若葉会という有志の会が結成され、現在はこの会を中心に、当たり日の3月17日前後の日曜日に行われています。

問合せ：相模湖観光協会 TEL042(684)2633

● 相模里神楽垣澤社中 第4回展示会（E）

期 日：3月11日（水曜日）～3月17日（火曜日）※3月11日（水曜日）13時～16時

月・火・木 10時～16時 金・土・日 10時～18時

観覧料：無料

※トークイベント開催予定

3月13日（金曜日）18時30分～19時30分「映画撮影から見る厚木の風景」

対談：関 寛之「映像作家」※最新作品「そこまで一緒に。」※里神楽で出演

3月14日（土曜日）16時～17時「心を育てる神楽とふるさと」

対談：小嶋富五郎【あつぎ飯山野良の芸術美術館長】（現代版寺子屋塾「無尽蔵」塾長）】

観覧料：1,000円（イベントのみ有料予定）※イベント開催中は入場制限があります。

場 所：アミューあつぎ5F アートギャラリー3（厚木中町2丁目12番15号）

TEL046(225)2510

交 通：小田急小田原線「本厚木駅」下車、東口から徒歩約5分

内 容：昨年に引き続き、神楽の魅力を広く理解して頂くため、写真(天孫降臨、他)・衣装・小道具類の展示会と市内外の観光アピールも兼ねた企画展示。

問合せ：相模里神楽 垣澤社中(垣澤) TEL/Fax046(229)0485

E-mail:info@kakizawa-company.com <https://www.sagami-satokagura.com>

● 相模里神楽垣澤社中（みずき会）第3回お浚い会（E）

期 日：3月22日（日曜日）開場13時 開演13時30分～17時（終演予定）

場 所：厚木シティプラザ6F サイエンスホール250（厚木中町1丁目1番3号）

TEL046(221)1110

交 通：小田急小田原線「本厚木駅」下車、東口から徒歩約3分

入場料：無料 定員150名予定（当日受付）

内 容：今回、第4回展示会(3月11日～3月17日)終了後、みずき会の若手（大人と子ども）を中心にお浚い会を開催します。日頃の稽古の成果を是非ご覧下さい。

演目：寿式三番叟・寿獅子舞・神楽舞・（寸劇・面芝居）絵本太功記九段目※社中のベテラン4名が演じます。・他 ※演目の変更や時間の遅延もあります。

問合せ：相模里神楽 垣澤社中(垣澤) TEL/Fax046(229)0485

E-mail:info@kakizawa-company.com <https://www.sagami-satokagura.com>

● 仙石原湯立獅子舞（A）

期 日：3月27日（金曜日）13時～

場 所：諏訪神社境内（箱根町仙石原）

交 通：JR東海道線、小田急小田原線「小田原駅」または箱根登山鉄道「箱根湯本駅」からバスにて「仙石」下車、徒歩約2分

内 容：仙石原に伝わる湯立獅子舞は、江戸時代に現在の山梨県富士吉田市から伝えられ、無病息災・天下泰平を願って行われます。獅子が釜で湯立を行いながら舞を舞う様は全国的にも希少で、大変見ごたえがあり、国重要無形民俗文化財になっています。5月5日に仙石原の金時神社でも奉納しています。

問合せ：箱根仙石原観光協会 TEL0460(84)3500

● 相模里神楽垣澤社中の公演（E）予定

期 日：3月29日（第4週の日曜日）11時～15時（※正式な月日は1月下旬に決定）

場 所：三嶋神社(平塚市夕陽ヶ丘60-27) TEL0463(22)3510

交 通：JR東海道線 平塚駅南口から「須賀港」方面へ、徒歩約10分

内 容：里神楽は、「古事記」や「日本書紀」など、古代日本の神話を題材に、面を付け行われる仮面黙劇で、神代神楽と呼ばれる神事芸能です。

（拝 殿）神前之舞奉納（11時神事開始）（神事の様子は見学できません）

（神楽殿）予定

演目：寿式三番叟付五人囃子・国土奉還(天之返矢)・その他

※演目の変更や時間の遅延もあります。

団体問合せ：相模里神楽 垣澤社中(垣澤) TEL/Fax 046(229)0485

E-mail; info@kakizawa-company.com <https://www.sagami-satokagura.com>